

初 段 (口)

問五 解答用紙

試験場	年 組	氏名
-----	-----	----



合否印
合
否

一般部

二段・三段(イ)

受験段に○印
をして下さい

試験場

年組

氏名

問一
解答欄

楷書

行書

草書

隸書

問二
解答欄

問三
解答欄

(3) 風 信 帖	(2) 書 譜	(1) 蘭 亭 序	作 品 名
			時 代
			筆 者

--

隸書	草書	行書	楷書

問四
解答欄

--	--	--	--	--	--	--

問五
解答欄

--

一般部

二・三(口)

問六 解答用紙

試験場

年 組

氏名

--

※各問の出典の記入は自由とする。

問一 次の漢詩を楷書か行書で調和よく書きなさい。(形式は縦・横自由)

春夜喜雨 杜甫
 好雨知時節
 當春乃發生
 隨風潛入夜
 潤物細無聲
 野徑雲俱黑
 江船火獨明
 曉看紅濕處
 花重錦官城

問二 次の漢詩の書き下し文を、原文のまま行書で調和よく書きなさい。

(ふりがなは書かないこと) (形式は縦・横自由)

春夜喜雨 杜甫
 好雨時節を知り
 春に当りて乃ち發生す
 風に隨いて潜かに夜に入り
 物を潤して細かにして声無し
 野徑雲は俱に黒く
 江船火は独り明かなり
 曉に紅の濕れる處を看れば
 花は錦官城に重からん

問三 次の短歌を、調和よく短冊の形式に散らし書きしなさい。漢字は仮名に変えてもよい。

(連綿や変体仮名をいくつか使いましゅう)

麦の穂の風にゆれたつ音きこゆ雀つばくら啼きしきるかに

(若山牧水の歌)

問四 次の字句を、筆ペンを使って、楷書と行書で書きなさい。

御祝 御霊前 御見舞
 御礼 御祝儀 御中元
 寸志 御歳暮 快気祝

印
否
合

準師範・師範

どちらかに○印をして下さい

問一 解答欄

--

問二 解答欄

試験場

年組

氏名

--

一般部 準師範・師範 解答用紙

試験場	年組	氏名
-----	----	----

問三 解答欄

--

問四 解答欄

〈楷書〉

〈行書〉
